

② 音楽文化の理解が深まります

大きく鑑賞

わが国や郷土の伝統音楽

わが国や郷土の伝統音楽のよさを味わい愛着をもつことができるように、鑑賞と表現の活動を関連づけています。

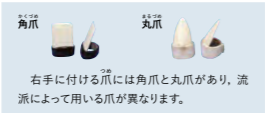
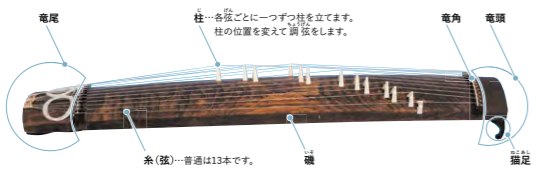
1年 p.48

箏曲「六段の調」

八橋検校が作曲したと伝えられている「六段の調」は、箏曲の段物の代表的な曲です。六つの段(部分)からなり、各段は初段を除いて同じ拍数になっています(初段のみ導入部の4拍分が多い)。

箏について

箏は奈良時代に鑑賞の楽器として、中国大陸から伝えられた楽器です。その後、少しずつ改良が加えられ、現在のような形になりました。箏の本体は、通常、桐でできています。各部は箏の体にととえて、箏頭、箏尾、箏角などと呼ばれます。



箏の調子について

箏の調子の仕方はいろいろありますが、この曲には「平調子」という調子の仕方が用いられています。

平調子
一の弦を弾いた場合

弦名… 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二

楽曲について

八橋検校が作曲したと伝えられている「六段の調」は、箏曲の段物の代表的な曲です。六つの段(部分)からなり、各段は初段を除いて同じ拍数になっています(初段のみ導入部の4拍分が多い)。

各段の初めの部分を五線譜と唱歌で表した例

初段 二段 三段 四段 五段 六段

オ…押し手 後オ…後押し ヒ…引き色 一…一の弦を弾く
サー…ラリ…裏通を去る唱歌。短いトレモロ(同じ音を連続して弾く)の後に、高い音から低い音へ連続的に速く弾くこと。

主要教材
箏曲「六段の調」を鑑賞します。

自分の考え方や見方、感じ取った曲想などをまとめて交流する「話し合おう」を設定しました。言語活動の充実と、他者と協働し対話的な活動が展開できる紙面構成になっています。

話し合おう
箏曲「六段の調」と比較して、ゲージョン「漁舟唱晩」やカヤグム「サンジョ」を鑑賞し、気がついたことや感じ取ったことをまとめ交流しよう。

ゲージョン
「漁舟唱晩」

カヤグム
「サンジョ」

Let's Try! 箏を弾いてみよう
「さくらさくら」を実際に箏で弾きます。後奏の創作にもチャレンジします!

Let's Try! 箏(こと)を弾いてみよう

箏の調弦 平調子
箏の調弦では、基準となる音の高さは固定されていません。右の譜例は一の弦を弾いた場合です。

縦譜の読み方 「さくらさくら」の最初と最後の部分

縦譜による基本的な奏法(角爪の場合)

右手のポジション 左手のポジション 弾き方

用いている主な唱歌
チム、テン、ツン…1音だけ弾く。チムは高く、テン、ツンの順に低くなる。さらに低い音はトン、シャン、シャー…2本の弦を一音に弾く。コロリン…3本の連続した弦を手前から順番に弾く。サー…ラリ…一の弦を短くトレモロ(同じ音を連続して弾く)で弾いた後、低い音(ここでは六の弦)へ向かって連続的に速く弾くこと。

1年 p.52

日本とアジアをつなぐ音

わが国の箏(こと)は、奈良時代に鑑賞に用いる楽器として中国大陸から伝わりました。現在、中国にはゲージョン(古筝)と呼ばれる楽器があります。また、朝鮮半島にも同じように伝わったと考えられる、カヤグム(伽耶琴)と呼ばれる楽器があります。いずれも箏と同じ発音原理と構造をもっています。

ゲージョン 中国
ゲージョンは、箏と同じ構造をもつ中国に伝わる弦楽器です。現在はナイロンを巻いた金属製の弦を使うことが多く、両手に付けた爪を使って演奏します。音色(おんしやく)や奏法などに着目しながら鑑賞してみましょう。

カヤグム 朝鮮半島
カヤグムは、朝鮮半島に伝わる弦楽器で、12本の絹糸の弦を、爪を付けずに演奏します。チャンゴと呼ばれる太鼓とともに表現することがあります。箏やゲージョンと比較しながら鑑賞してみましょう。

深めてみよう
日本とアジアをつなぐ音
箏と同じ発音原理の楽器、中国のゲージョン、朝鮮半島のカヤグムを鑑賞して音楽文化の理解を深めます。

② 音楽文化の理解が深まります

きく
鑑賞

共通性と固有性

各学年に設けた「何が同じで、何が違う」では、さまざまな音楽について共通性と固有性を考えます。特徴を理解するための書き込み欄を設けたり、「話し合おう」を設定したりしました。学習の実態に応じて、柔軟に取り扱ってください。

1年では、八木節(日本)、ホーミー(モンゴル)、「魔王」(ドイツリート)を比較し、特徴や着目したことを自分の言葉で整理していきます。

何が同じで、何が違う？
声の出し方から、音楽の特徴をみていこう。

	八木節 ▶ p.54	ホーミー ▶ p.55	魔王 ▶ p.44
声の音色の特徴			
表現している旋律の特徴			
自分が着目したこと			

話し合おう
それぞれの音楽の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。

天台山明 ▶ p.54 ケチャ ▶ p.55 布農(ブヌン)族の合唱 ▶ p.55

1年
p.60

	八木節 ▶ p.54	ホーミー ▶ p.55	魔王 ▶ p.44
声の音色の特徴			
表現している旋律の特徴			
自分が着目したこと			

音楽的な見方・考え方を活用して、自分なりの考えをまとめます

何が同じで、何が違う？
用いられる楽器から、音楽の特徴をみていこう。

	雅楽「越天楽」 ▶ p.40	交響曲第5番 ▶ p.34
選んだ楽器		
他の楽器との重ね方・組み合わせ方		
リズムや旋律の特徴		
自分が着目したこと		

話し合おう
それぞれの音楽の特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして気がついたことを友達に紹介しよう。

鹿踊(ししおどり)や獅子舞、能で用いられる楽器についても比較しながら整理してみよう。

鹿踊 ▶ p.46 獅子舞 ▶ p.47 能「羽衣」 ▶ p.59

2・3上
p.56

2・3上では、雅楽「越天楽」(平調)と「交響曲第5番」(ベートーヴェン)で用いる楽器を比較し、さまざま特徴についてまとめます。

何が同じで、何が違う？
舞台芸術の表現から、音楽の特徴をみていこう。

	歌舞伎「勧進帳」 ▶ p.38	オペラ「アイーダ」 ▶ p.32
音楽の役割		
音楽の特徴		
自分が着目したこと		

話し合おう
それぞれの音楽の役割や特徴を踏まえて、共通点や相違点について考えてみよう。そして、気がついたことを友達に紹介しよう。

文楽「義経千本桜」 ▶ p.42 バレエ「白鳥の湖」 ▶ p.37 ジンジュ「音階記」 ▶ p.52

2・3下
p.50

2・3下では、1600年ごろに生まれた舞台芸術、歌舞伎とオペラを鑑賞し、音楽の役割や特徴、自分が着目した点を比較します。